

## 時局匡救豫算が生れるまで

### 路 政 僧

臨時議會の豫算總會で、藏相高橋さんは、農振事業は三年簡年續けてやる、初年度は産業振興事業もあるのだから事業費は尠いが、二年目は相當の年額を計上する積りだと言つて手を振つて二年目が膨れるのぢやと説明した、其の二年目即ち八年度豫算を編制するやうに爲つた。其の豫算を編制する内務省土木局では、毎日電燈がつく頃から會議を始めて小田原評定。

米の値段が少しばかり上つた繭にしたつて上つてきた、農振事業の利目が表はれたのだから明年度豫算の編制は割合に樂だ、と、達磨藏相が言つたとやら新聞に報導される、あの記事の意味は何だろわか、あれは軍部の要求が強いので空景氣を理由に農村振興事業を罷めて軍部の豫算を是認する腹であろう、と利巧なのが藏相の腹の中へでも這入つて聞いたかのやうに囃立てる、山本内相の東北旅行の車

中談に、國家非常の時ぢや内務の豫算位は犠牲に供しても已むを得ないと言つたとやら、大藏省が要求豫算を査定もしない先から、あんな弱音ををはかれては困るぢやないか、親の心子不知。と言ふことはあつても子の心親不知では困ると滾すもある、此調子では前途が案じられる、併し唐澤土木局長は豫算の要求が極めて巧妙ぢやから餘り心配するな、いかに運が悪いにしても七年度より減る筈はないと樂觀するもある。

マー取越し苦勞はするものぢやない、七年度農村振興事業だつて内務省の遣り方は世上好評を博してゐるぢやないか、豫算成立前に内務部長や土木部課長會議を開いて非常に處する緊張味の訓示をするやら、豫算公布の日に地方長官に訓令して政府の趣旨を徹底せしむるやら、監察官制度を樹て、事業の促進を計るやら、其の手際は農林省あた

りの遣ふことゝは段が違つてゐる、誰やらが農林土木の執行に關する農林大臣の地方長官に對する訓令は、内務大臣の訓令を準用すると言つた方がましだと言つた位だから、大藏省でも此位のことには理解してゐやうから餘り心配するなと言ふもある。こんな具合で二三日天下の形勢を觀望することに爲つたが、何とか立案せなければならぬ日がきた。

○

豫算に赤字が出てゐやうと夫れを始末するのは大藏省の役目だ、こちらは消費者だから事業上の見地で要るものだけを要求しやうぢや無いかと言ふことに落付いて立てられたのが、驚くなかれ豫算總額一億五千七百二十七萬圓で二億三千九百十九萬圓の仕事をしやうと言ふ案であつた。

土木局は世間知らずだ、と評する人もあつたが、七年度に一億二千六百萬圓の仕事をしてゐるものが、達磨藏相の抱負？を聞かされた局として二億四千萬圓足らずの事業を計畫するのは當然ぢやと、提灯を持つて呉れる連中もあつて省内會議に附せられるゝことゝ爲つた。

山本内相、開口一番、大藏大臣を困らせるやうな豫算を

要求することは考へて貰はなければならんぞ。と聞かされた連中は顔見合して目をパチ／＼老人が閣僚に爲ると政黨政派もあつたものぢやない、内閣維持に執着念のない御兩人には慾と言ふものがなから困る、と何處かの局長が言つたか言はないかは知らないが、兎に角不景氣な氣持の下に會議が續けられたが、脱線した話やら世間話をしてゐる中に會議の空氣は一轉して和らかい場面になつた、兎も角土木の豫算は此儘で大藏省に要求しやうぢやないかと言ふことに爲つて兎が附いた。

大演習前に豫算を決定する段取りなので、大藏省も徹夜して査定したが、要求も要求額ぢやが査定も随分思ひ切つて九千二百三十五萬圓に蹴落した、そこで復活要求の會議が内相官邸で開かれる。

大藏大臣の話聞いて見りや無理もないことだ、餘り無理な復活要求をしないやうに他の閣僚にも話しておいたから、其の心持でやつて呉れ、私は餘り力説するのは嫌だから事務當局で打合せをしてナゝ私の留守中に決定しておいてお呉れと言ふ調子、仕方がないから内輪の積りで二百三十六萬圓餘の復活を要求した、閣議に於ける内相の

意見を聞いた大藏省の連中は、内務省が復活を要求するのは内相の意見に反するぢやないかと容易に相手にしない、何處やらの省は山本内相の閣議に於ける意見を尊重して二百萬圓程度の復活を要求したが、内務省の復活要求額を聞いて驚いた内相に一杯喰はされた、内相と藏相が秘密取引をしてゐるに違いないと地團駄を踏んで、復活要求の取戻しに奔走するやら主計局を中心に悲喜劇が演ぜられた。

大藏省の言分では各省に配當した殘金は實際三千萬圓しかない、夫れに陸海軍は二億圓からの復活を要求してゐる夫れに一千萬圓を振當ても殘二千萬圓しかない、之は播州赤穂城の明け渡しの際に採つた頭數主義に依つて分配するのだ、詰り大石良雄の主張に従つて分けるのぢや、と人を喰つたことを言つて容易に配分額を示さない。

軍部の要求もなか／＼強い、滿洲事件に要した費用は既得の權利であるから八年度豫算の査定外にあるものだ、で如何な方法に依つても一文も負ける譯には行かないと、全く戰爭腰に寫つて争ふので、之には藏相も閉口したと見え、九千萬圓をなげ出し之で陸海兩省は勘辨して呉れと、言つたのに驚いたのは大藏省内の人々だつた、一體藏相は我が

財界をドーする積りなのか知ら、と怒るもある、併し陸海兩省を除いた各省は之で又一千萬圓の増加額の割當に預ると軍部の横暴を憎みながらも心の裡で喜んだ。

土木事業費に割當てられたものが約六百萬圓、之で小貝川、烏神流川、最上川上流やら矢作や菊川の改修やら淀川低水工事や乃至は多摩川維持の新事業が全部認容され、港灣では酒田和歌山廣島の三港の改良費が認められ、唐澤土木局長の大藏省への交渉は成效して土木局萬歳の感を呈した之で難題視せられた八年度豫算も確定して閣議に附せられたのであるが、三土鐵相何と感違ひしたのか之に横槍を入れて河川や港灣の改良事業は十年度以降の財政を壓迫するから賛成出来ないと頑ばつた、山本内相は私の留守中に大藏當局と事務當局が協調して拵えた豫算だ、そんなものが這入つてゐたかネー篤と調べて見やうと言ふことに爲つて閣議は散會したが、之を傳へ聞いた新聞記者はサー政民兩派の鬭争ぢや内閣が互解すると騒ぎ出した、三土鐵相は豫算編成の大方針に反するものは認むることは出来ない、職を賭しても争ふと頑張る、山本内相は、十年度以降の財政に影響あるものは各省の豫算にも澤山あるぢやない

か、何も内務の土木豫算だけに限つた譯ぢやない、三土君も其のやうに力まなくても可いぢやないかと言つた調子。

政友會内でも甲論乙駁と言つた混亂状態を呈し、三土があの事業に反對するとはけしからぬ、あの事業は政友會年來の主張ぢやと言ふもあれば、吾が黨を代表して閣内に這入つた閣僚の主張する正論には黨として賛成せなければならぬと鐵相の肩を持つもある、消極主義を採る民政黨でも山本内相の主張を援助して豫算原案を維持しやうとする、政黨としての主義主張もあつたものではない山本三土の兩相を助けば夫れで可いと言つた調子、當の責任者である高橋藏相は吾不關焉の態度で三土さんが政友會の藏相氣取りで力むでゐる。

何か可い妥協案がないものかナーと、現政府維持論者が策動する、新規河川や港灣の數を減じて兩相の顔を立てたらドーだと軟派も出たが、山本内相は理屈があるのなら内閣位潰れたて可いから争つても可い、土木局はドーだと質したとやら言はれてゐる、當の提案者たる土木局長の唐澤さん、河川や港灣の數を削ることは絶對賛成は出來ない、之を見合すか全部認容するかの二た途だ、削るなら全部削

つて貰ひたい三土さんの主張が正論なら各省の豫算を編成替へするのが當然で土木豫算のみに就て主張されるのは譯が判らぬと頑張つた、しかも常に溫和な唐澤氏が、此事件に限つてこそ一歩も退かないとの確信を示したので、山本内相も唐澤氏の意氣に動かされて大きな決心を示すに至つたが、いつの世にも留め男と言ふ者があると思え、大臣がそんな決意をして呉れては困ると閣議前に口説き落した人があつた。

夫れで出來上つた折衷案が新規河川港灣を八九兩年度で改修する、で内務省要求豫算を増額することで梟が附いた、山本内相、喧嘩は老人が負けて置く方が可い、三土鐵相、之で理論的な豫算が出來上つたと、高橋藏相、世間は騒いでも落附くところに落附くと、三人とも勝手なことを言つて暮。

理論に負けて豫算を殖やし理論だけに満足してゐるところに兩相の個性が表はれてゐるが、三土さん鐵道問題も政友會の主張を退けて理論的にやりなさい、夫れでなければ男の顔が立たない筈だと、土木局から鐵道省の屋根を監視してゐる。